

2024 年度 事業報告

当家族会活動の基本である家族同士の「支え合い」、仲間と一緒に「学びあい」、私たちの思いを伝える「働きかけ」のために、定例会、婦人茶話会、研修会、勉強会、親睦会などを行い、参加し、新たな会員のご参加もありました。

I. 「支え合い」「学びあい」「働きかけ」の活動

1. 会員同士の「支え合い」

①定例会	⇒10 回開催。平均 23 人参加（オブザーバ含む）。 発言してもらうことが大事で、お互いに気づきや元気づけられることなど、生まれることが多々ありました。学習会も実施（「学び合いに内容記載」）しました。欠席会員には、定例会の様子を伝え、会報なども送付しました。 *会場は原則龍ヶ崎市市民活動センター。稲敷市（8 月）、河内町（10 月）、利根町（11 月）でも開催しました。
②婦人茶話会	⇒9 回開催。平均 12 人参加。細やかな話し合いを中心に、親睦と交流を深めました。 *会場は総合福祉センター。
③親睦会	⇒懇親会（8 月 四季亭）16 人参加 ⇒新年会（1 月 龍ヶ崎市市民活動センター） 24 人参加 食事タイム、ティータイム、体操タイム、合唱タイム、ゲームタイム
④相談活動	⇒2021 年に「イマココ龍ヶ崎 計画相談、自立支援サービス」が開始、業務を移行。家族会に寄せられた相談事に寄り添い、イマココをはじめ社会資源の紹介にもつとめました。

2. 正しい知識の習得のための「学びあい」

①学習会 （定例会内）	⇒「そうかいプログラム（精神障がい当事者と家族の相互理解学習プログラム）」の学習（6, 7, 9, 2, 3 月 案内役 蔭山正子准教授） ⇒「グループホーム学習会（12 月 シンフォニックタウンドルチェ（美浦村）吉野和一郎施設長）
②学習会 （定例会外）	⇒コミュニケーション障害研究会 毎月実施 「気づき」を大切にして「理解し共感する」という課題に挑戦しました。
③講演会、研修会	⇒みんなねっと北海道大会（10 月 北海道大 学術交流会館、浦河べてるの家） テーマ：対話を家族のものに ⇒精神保健福祉フォーラム in 水戸（10 月 ザ・ヒロサワ・シティ会館） テーマ：みんな集まろう 元気出そう ⇒家族会会長会議・研修会（12 月 茨城県精神保健福祉センター） テーマ：家族相談を受ける時に、一番大切なこと ⇒県南ブロック研修会（2 月 牛久市中央生涯学習センター） テーマ：家族会だからできること・家族会にしかできないこと 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム等の政策を踏まえて その他、茨城県障害者福祉の集い（さらなる一步を踏み出そう 大昭ホール龍ヶ崎）等にも参加
④その他	⇒書籍購入・入手 「月刊みんなねっと」誌、「まんが やってみたいくなるオープンダイアログ（医学書院）」、「川柳で読み解く統合失調症 病歴 34 年のうたものがたり（就労支援センター とも）」、「あしあと～当事者と歩んできた家族の記録～（群馬県家族会連合会）」

3. 行政、地域住民、関係団体への「働きかけ」

3 - 1. 情報の発信

①会報「ピア・か たつむり通信」	⇒年4回発行、会員の投稿を中心に、福祉の動向、研修報告なども掲載。 会員(*1)及び関係先(*2)に配布しました(300部/回)。 (*1)一般会員数： 期初(2024.4.1) 47 期末(2025.3.31) 49 退会1、入会3 (期末内訳) 龍ヶ崎市30、利根町6、稲敷市4、河内町1、つくば市3、 その他5 賛助会員数： 期初 3、期末 3 (*2)2市2町役所関係部門、福祉施設・団体、民生委員、医療機関、保健所、 社会福祉協議会ほか
②家族会のパン フレット	⇒当事者・家族、精神保健福祉に関わり、関係先に常置していただきました。
③家族会 HP	⇒定例会の予定や活動記録を毎月掲載。(2009年7月開設、2018年10月デザ イン更新)
④広報誌掲載	⇒定例会の開催案内を龍ヶ崎市、稲敷市、河内町、利根町の広報紙に掲載して いただきました。

3 - 2. 地域への働きかけと連携

① 地元自治体 との連携	⇒龍ヶ崎市「障害者自立支援協議会相談支援部会」への委員参加 ⇒龍ヶ崎市「ゆっこら・地域活動支援センター運営協議会」(10月) ⇒市社協「ボランティア連絡協議会」理事、広報
②(社福)ゆっこら との連携	⇒評議員派遣(竹之内、長瀬)(評議員会6月、11月、3月)
③地域当事者・ 家族相談への 対応	⇒2021年に「イマココ龍ヶ崎 計画相談、自立支援サービス」が開始、業務 を移行しました。
④地域イベント	⇒ふれ愛広場(10月 大昭ホール広場)花苗販売 ⇒市民活動フェア(2月 サプラ)精神障害の啓発資料パネル展示 会報、家族会パンフレットの配布

II. 「支え合い」「学びあい」「働きかけ」を推進するための会議、行事活動

① 総会	⇒5月、事業・決算報告ならびに事業計画・予算案等の承認を得ました。 Ⅱ部ご講演 茨城県精神保健福祉センター 片見眞由美様
② 役員会	⇒毎月実施。情報を共有し、事業計画・定例会の具体的進め方を協議しまし た。
③ 県南かれん <注1>	⇒6回実施。障害福祉に関する県連及び県の動向を報告。各家族会の情報・ 会報の交換などを行いました。
④ 県連 <注2>	⇒理事派遣(竹之内) 理事会、理事連絡会出席(対面、ウェブ) ⇒定時社員総会(5月) ⇒家族会会長会議・研修会(12月) 県連では、フォーラム、ブロック研修会、みんなねっと関東ブロック会議、 県への働きかけ(陳情)等に参画しました。

<注1> 茨城県南地区家族会連絡会の略称：龍ヶ崎、取手、牛久、守谷、つくばの5家族会

<注2> 茨城県精神保健福祉会連合会